

やる気と感動

学校だより 17号
平成28年
12月22日(木)

= 80日間の二学期 確かな成長の足跡と課題 =

80日間の二学期で、南部中学校・南部中の生徒は一步一步確実に成長できたと思います。輝城祭、新人戦、音楽発表会などの行事で、集団としての強いまとまりと発表などでの質の高さ、運動面での力強さを学校内外に示すことができました。また弁論大会、英語暗唱大会、教育祭図画大会、各種応募作品などで数々の賞も受賞しました。12月には、全校でインフルエンザ対策を考え学んだ保健集会、寸劇やミニビブリオバトルで読書への意欲を高めてくれた図書集会、吹奏楽部の県アンサンブルコンテスト銀賞受賞、文化的活動や委員会活動でも大きな成果を挙げました。委員会活動は全ての委員会が時間の制約がある中、しっかりと活動していました。

全体的には、日常生活であいさつがしっかりできる、服装や身だしなみがきちんとしている、清掃や奉仕活動に真剣に取り組める、ノーチャイムでの生活ができる、など良い面がたくさん見られました。多くの人が二学期に心身ともに大きく成長しています。様々な役職に挑戦し力をつけた人、学習面で自ら努力ができるようになった人、優しい気持ちで周囲に接することができた人、自分の考えをしっかりと主張できるようになった人、部活動で大きな成果を残せた人など、通信表の担任の先生のコメントには皆さんの成長の跡が刻まれています。反面、成長できていない人もいます。また、日常生活でいくつかの課題も残されています。周囲を気にせず大声を出す・廊下を走るなどの迷惑行為が見られる、課題や提出物の期限が守れない人が減らない、授業への意欲が低い人がいる、下校中一般車両の通行の妨げとなるなど危険な行為があったなどです。そのほとんどが、『自分のことしか見えない。』『周囲に心を配れない。』『やるべきことをやりきれない。』という幼い心・弱い心が原因です。

『行事や様々な取り組みで得られた成果を、日常生活にどう生かしていくか。』が、これからの南部中の課題だと言えます。この成果と課題をしっかりと受け止めることを、課題解決への一歩としましょう。

『気づき』『考え』『行動』のできる生徒集団を作っていきましょう。

= 冬季休業をチャンスに =

26日(23日)から1月9日まで、実質18日間の例年より長い冬季休業が始まります。休み中も部活動や学習会、面接練習などありますが、学習面や部活動の面での課題を克服する最大のチャンスです。

挑戦すべき事や課題は、学年・個人によって違うでしょう。三年生は受験・進学へ向け、断固たる決意で取り組んでください。一・二年生は学習面では苦手克服、部活動では基礎技術・基礎体力の強化などが重要です。自分自身のやるべき事、課題を明確にして、チャンスをものにしてください。山梨県選抜のエースとしてバレーボール全国大会に出場する近藤美結さん。全国トップレベルを肌で感じ、多くのことを吸収し後輩に伝えてください。

年末年始は、大掃除や家庭の行事など普段あまりできない家庭での役割を果たすこと、地域への行事へ参加することも大切です。家族・地域の一員であることも強く意識する期間にしてください。

アンサンブルコンテスト 銀賞受賞 ～

12月17日(土) コラニー文化ホールでアンサンブルコンテストが行われました。金賞にあと1点に迫る惜しい・悔しい銀賞でしたが、8月のコンクールで『金賞を取れる、取るぞ。』という気持ちにさせてくれる銀賞だったと思います。次はサウスウインドコンサートです。高校生や他校から学ぶチャンスです。頑張りましょう。

佐野鈴香さん 県下一周駅伝南巨摩・西八代チーム 七位入賞(過去最高)に貢献

12月17日(土)に行われた県下一周駅伝に佐野鈴香さんが出場しました。前日走る予定の選手がインフルエンザになり、試走もしていない状況で急遽の出場でした。アップダウンのある3Kmのコースを12分11秒の好タイムで走り抜け、10位で襷を繋ぎチームの入賞に大きく貢献しました。素晴らしい走りでした。